

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	開講学期	通年	単位数	2	試験	前期・後期
タイプ	Ⅱ	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		14
教科書(発行者)		高校生の美術Ⅰ(日本文教出版)							
補助教材(発行者)		高校生の美術Ⅰ 学習書(NHK出版)							

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを旨とする。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し、発想や構想を練ったり、美術や文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	日本美術	第1・2・3回	前期
	第2回	浮世絵	第4・5・6回	
	第3回	西洋美術史	第7・8回	
後期	第4回	作家探究	第9・10回	後期
	第5回	様々な技法と画材	第11・12回	
	第6回	技法・色彩	第13・14回	